

# シルバー さくら



公益社団法人  
佐倉市シルバー人材センター

〒285-0025 千葉県佐倉市鎧木町198番地2

レインボープラザ佐倉 2F

電話: 043-486-5482(代) FAX: 043-486-5419

メールアドレス

sakurassjc@sjc.ne.jp

ホームページ

<http://webc.sjc.ne.jp/sakurassjc/>



左のQRコードを読み取ると、(公益社団法人)佐倉市シルバー人材センターのホームページが開きます。

令和2年5月1日 発行

第122号

ハローシニア佐倉



(公社)佐倉市シルバー人材センター



撮影／穴澤 章さん(佐倉SC写真同好会)



田中 千俊  
会長

# 令和二年度を迎えて



弘松 徹  
副会長



田中 豊嗣  
常務理事

令和元年度は、自然災害が多い中、安全第一でご活躍ありがとうございました。

昨年1年間の業績につきましては、「定時総会」資料に詳しく掲載されていますので是非目を通してください。

然しながら、令和2年1月までは、業績や会員活動も順調に進展していましたが、2月からは新型コロナウイルスの拡散により受注件数が下降をたどり、3月は企業のコロナ対策による営業の縮小や停止により会員の就業が中止、さらに公的施設の閉鎖により一部就業が中止となり派遣など合わせて200人を超える会員の就業が停止となりました。

よつて、令和元年度の業績は、当初順調に推移していましたが、急遽伸び悩みとなってしまいました。

また、4月に入り更なるコロナ拡散防止対策による影響を受け、今年度の予算も下降修正せざるを得ません。

しかし、コロナウイルスの終息が見えない中で予算を組みなおしても現実味が有りません。よつて今年度予算

は、「定時総会」資料に基づき運用し、コロナが治まり、先が見える時点で補正予算を組むことになると思います。

当センターでは、ゆとりを持つて市民生活を送って頂く上において、植木の剪定や草刈・草取りをはじめ、多様なお仕事を受けています。また訪問介護や福祉有償運送・高齢者生活支援も手掛けて、佐倉市の各種医療費等の軽減にも寄与しています。そして、私たちは、就業する事により「元気」を頂いています。

今、コロナで世界中が終息に向かつて戦っています。我々ができる事は、「3密」を避け、「うつされない」努力を続けることでしょう。そして、空いている時間を「免許や資格取得」など、スキルアップを図る事や「フレイル」にならないよう、軽い運動などで体力を付けておきましょう。「定時総会」の結果は、「シルバーさくら7月臨時号」で、ご報告させていただきます。

令和2年度は、新型コロナウイルスの禍で多難な門出となりました。『緊急事態宣言』の解除がいつになるか不透明ですが、コロナウイルスの感染が終息するまで、どうぞ気を緩めず徹底したウイルス対応をお願い致します。

今年度は、残念ながら「シルバーフェス」が中止となり、仕事や会議・催しなどの活動も制約されています。この制約の中で、センターでは事務局を中心とし、情報配信や意見交換、職員のスケジュールや会議室予約など、ITの活用が着々と広がっています。この機会に理事や班長等が在宅で解決できるIT活用を順次拡大したいと考えています。

当センターも感染拡大防止の為、営業を縮小し、事務局に於いても少人数で対応しております。会員の皆様も「事業計画」に基づいて、新しい気持ちでスタートする予定でしたが、今は、まずは感染しないように自己防衛に徹して、収束を待つしかありません。

会員の皆様も「仕事は中止」「互助会の活動も自粛」「人との接触も避ける」等暗い気持ちになります。しかし、前向きに考えて、今迄時間が無くて出来なかつた事を思い出して、何か始めてみるのも良いかと感じしてみては如何でしょうか。

何よりもまず『安全第一』で元気に楽しく、シニア人生をエンジョイして頂きたいと存じます。

今年度も宜しくお願い致します。

自宅での時間を有効に使つて、興味のある資格取得に挑戦する!など・・・。

止まない雨はない」「明けない夜はない」などを思い出し、今年度の前半は、厳しいでしあが、コロナ収束の後は、皆さんと一緒に頑張つて良い年度にしようではありますか! 何事もネガティブではなく、ポジティブをモットーに!!

今年度も会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



何事も、ポジティブ発想で!

少子高齢化の時代で大きく変わったのは、高齢者を必要とする時代となつていています。時代のニーズに応えるために、センターの事業計画立案・会員拡大・高品質な作業・センターの認知度の向上等、頑張つて頂いています。

今年度も引き続き市民の皆様・自治体・関連団体等のご要望に応えるべく、理事活動委員会を中心事業運営を推進したいと思つておりますので、委員会の皆様の更なる活躍をお願い致します。

## 企画委員会 サポート事業分科会

昨年度は、会員拡大と女性会員比率、女性組織設置の目標が達成されました。半面退会者も増えています。就労意欲のある元気な高齢者の増加に相応しいセンターの取り組みの継続が欠かせません。

今年度も、会員拡大で1,200名の達成と就業機会の拡大、女性会員比率を31%に高めること、そして新生女性部会を基に女性会員活躍の推進をめざ



します。退会者抑制のため満足度アップのセンターづくりを進めましょう。

委員長 高橋 豊明

## 企画委員会 研修分科会

今期研修分科会は、接遇力向上研修を中心に推進する計画としています。お客様とどのように対応すれば、お互いが楽しく仕事が出来るのかを考えた研修としたいと思い計画しました。

昨年は就業中の会員中心でしたが、今年度は、新入会員中心となります。その他業務別接遇力向上研修や、技能研修も続けます。



多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

委員長 相川 浩一

## 企画委員会 事業運営分科会

「新型コロナウィルス」は、当センターの運営や様々な活動にも大きな影響を及ぼしております。

当分科会では、来年度事業計画の策定にあたり、これを十分考慮したうえで取り組む所存です。

また、来年度から始まる新中期計画の策定については、プロジェクトチームと一緒に進めていきたいと考えております。



委員長 佐々木 明也

## 安全・適正就業委員会

総勢14名での活動となります。安全就業面では事故撲滅を目指し安全パトロールを強化し、職種別安全講習会を計画します。

今年度はチェーンソーの使用基準が厳しくなることから、技術講習や使用基準等を制定します。

適正就業面では安全適正就業に関する各種規程の見直しを行います。



令和2年度 安全標語  
まさかより  
もしもの気持ちで  
危険予知

委員長 弘松 徹

## 広報委員会

「ハローシニア佐倉」を毎月発行し、会員にどのような方がいるか、どんな職場で活躍しているか、センターが今どういう動きをしているかなどをお伝えして、シルバーライフをより充実したものにしていくいただくことを目指します。

また、「シルバーさくら」を年4回発行し、会員及び市民、関係機関に向け、センターの活動状況を発信してまいります。



さらに、QRコードから視聴できる動画の充実を図り、理解促進に努めます。

委員長 長田 成児

## 総務委員会

参画予定の5月シルバーフェスタ2020は、新型コロナウィルス禍の為残念ながら中止となりました。縮小して開催予定の令和2年度定時総会は、準備に遺漏なく努めます。

来期は、2021年10月開催予定の創立40周年記念事業では実行委員として主体的な活動と、2021シルバーフェスタでは実行委員会に参画し運営推進を図ります。いずれも会員の皆様の



ご協力を頂き、成功裡に終える様頑張ります。

委員長 平田 美幸

理事と会員が  
一体となって活動する



常務理事 田中 豊嗣

## 理事活動委員会

## 会員互助会

会員互助会主催の「長寿お祝いの会」が、2月13日(木)に佐倉ミレニアムセンター大ホールで開催されました。対象者は、米寿1名、喜寿63名の方々でした。

会員互助会 会長 熊田 猛

今回の会員対象者は、米寿1名、喜寿63名の方々です。この場にご列席いただけた方は32名です。皆さんは昭和に生まれ育ち、昭和・平成・令和と生きてこられました。又、佐倉シルバー人材センターの会員として長年に渡り相互互助のもと活躍され、センター運営にも多大な貢献をされております。又、令和元年には元気に米寿・喜寿を迎えていましたことおめでとうございます。そして今日のお祝いの会に元気な姿でご列席されている皆さん、本日は誠におめでとうございます。今や日本も超高齢化社会になり、人生100年に備える時代になつてきていると言われています。健康寿命を延ばし、長寿社会を楽しむには、働く意欲と社会参画することが大事であると思います。



祝  
米寿

昭和6年4月～7年3月生れ

志津地区  
長谷部 實

佐倉・和田地区  
坂 尚信

喜寿 昭和17年4月～18年3月生れ

根郷・弥富地区  
上野 君男

橋本 礼男

青山 克子

石井 啓一

柏谷 春代

池田 武運

藤巻 秀二

樋口 二二子

小田 英幸

鈴木 二郎

白井・千代田地区  
藤方 清治

堀 古村

大河原 美和子

向田 利旺

高橋 勝也

阿部 信昭

沼田 陸記

小野 信昭

林 哲二郎

塙田 信昭

峰岸 信昭

野村 信昭

水野 信昭

塙田 信昭

吉田 信昭

門間 信昭

小竹 貴和子

吉川 泰司

門間 幸夫

佐藤 幸夫

佐藤 幸夫

## 彰表

このほど、湯浅征路監事さんが、音楽活動を通じての貢献が認められ、佐倉市社会福祉協議会から感謝状を受けられました。

湯浅 監事



この感謝状は、お陰様で毎年皆様のご協力を得て頂いたもので、私一人のものでは有りません。私が代表して頂いたものと思っています。

COUNTRY WESTERNのバンド活動から始まって、解散後もVOCALISTとして活動した結果です。音楽を通じて「社会貢献」できたことに感謝しています。

## 俳短柳同好会 短歌

新コロナ巨大船はリスク負い  
感染広げる世界の果てまで

クルーズ船庶民の夢は突然に  
格子戸おりて饗宴終りぬ

成田詣り向かう電車の座席にて  
ちよこんと正座してた亡き母

静かにも日は沈みゆく西の空  
梅の木に目白のためにみかんさす

夫のやしさしさわかつてほしい  
夫のやさしさわかってほしい

如月にひだまり探すバス停に  
バスは悠然と停まり居るかな

あかだいだいきいみどりあをあるむらさき  
わたしといつしよに超えていかうよ

越川 圭子

岡田 典子

田中 順子

鶴飼 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

鶴飼 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

鶴飼 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美

中林 喜美

山崎 喜美

田中 喜美

木村 喜美

増田 喜美